

じゃがいも掘りと葉っぱかいたしおり作り

掘ったじゃがいもでカレーライス!

都田地区 長岡 智和

平成 23 年 7 月 17 日(日)午前 10 時、炎天下のもと「JA 横浜きた総合センター」において、毎年恒例のじゃがいも掘りを開催しました。

私たち、都田地区(大熊・折本・東方・川向・平台)10名の青少年指導員は、地域の子どもたちへ笑顔と元気を届けるため、3月より種植え、4月に草取り、5月に芽かき、そして当日を迎えました。



種植え: この日は風も冷たく、とても寒かったんです。草取りや芽かきと、次の日は腰や太ももが痛くなりました。



じゃがいも掘り: あっちでも、こっちでも、沢山とれました。



今回、都田地区として初めて、地元中学校よりボランティアとして来て下さった、椿君(左)と藤枝さん(右)

カレーライス: 大きなお鍋2つに沢山のカレー。暑かったけど、掘ったじゃがいもでのカレーライスは最高でしたね。おかわりもしてお腹いっぱいになりました。



葉っぱカルタ: 事前に周辺より葉っぱ20種類を採取し、模造紙にサンプルを作成。よーいドン!の掛け声と共に、1チーム約10人が4チームに別れ、一斉に走り出し採取を開始。どのチームが一番集められるかな。優勝チームは14種類を集めました。



最後は参加者149人全員にお土産です。子どもたちは重そうに持って帰りました。



しおり作り: あらかじめ牛乳パックの3/4面を丁寧に切り取っておきます。集めた葉っぱを牛乳パック裏面に置き、ハンカチをあて高温でアイロンを掛けると付きます。最後に上部に穴をあけリボンを通せば出来上がりです。

夕涼み会 子供向けゲーム大会

茅ヶ崎南MGC地区 遠藤 操

今年は、天候不順で当日の朝まで開催が危ぶまれていましたが、茅ヶ崎南 MGC 地区の「夕涼み会」が平成 23 年 8 月 20 日(土)、予定通り行われました。

「夕涼み会」は毎夏行われ、地元中学校の吹奏楽部の演奏や、和太鼓の演奏の他、ゲームや模擬店等があり、多くの人で賑わいます。

その中で青少年指導員は、体育指導委員(P4の備考参照)との協力で恒例「子供向けゲーム大会」を行いました。ゲーム内容は「ストラックアウト」と「的当てゲーム」。ゲームに参加した幼児から小学生までの子どもたちに、お菓子とジュースを配りました。

ゲームが始まると多くの子どもたちが列を作り、狙った番号や的

を目標に、みんな一生懸命全力投球。見ている私も手に力が入りました。体が小さい幼児は、小学生よりに近づいて投球。「ストラックアウト」も「的当てゲーム」も子どもたちの活気で熱くなり、大盛況でした。

子供向けゲーム大会の後、同じエリアで、「キックターゲット」が行われ、引き続き子どもたちは楽しんでいました。



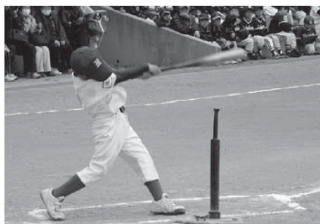
少年野球チームとの関わり 佐江戸加賀原地区 志 田 政 明



18年ほど前の佐江戸加賀原地区の少年野球チームは青少年指導員が中心になって運営していたこともあり、私が青少年指導員になったのは少年野球チームのコーチとして誘われたことがきっかけになります。

少年野球に関わるようになってからは、学校の授業参観日や運動会で声をかけてくる子が増え、中学生や高校生になっても忘れないでいてくれるようになりました。

子どもたちの中には横道にそれる子もありますが、いつでも声を掛けられる関係にあるのは、少年野球に関わってきたおかげだと感謝しています。



最近は小学3年生以下の児童を対象にしたティーボール野球という「ティー台にボールを乗せて打つ野球ゲーム」のスタッフとして関わることが多くなり、最初にコーチをしたときの選手の子どもも入ってくるようになりました。

これからも少年野球チームに関わり、子どもたちが成長して行く姿を見守って行きたいと思います。

地区パトロール

平成 23 年 7 月 23 日 (土) 午後 10 時、川和、佐江戸加賀原、ふれあいの丘地区の青少年指導員と川和中学校おやじの会、先生も加わり、約 30 名で 3 グループに分かれ川和中学校校門前より自治会青パトの協力を得てパトロールに出かけました。(青パトとは、各自治会で登録された、一般車両に青色回転灯をつけて地域を見回している車です。この車が走るることにより犯罪なども少なくなってきているようです。)



ふれあいの丘地区 田 中 さとみ

この日は近くの公園で夏祭りも開催されていましたが、震災の影響もあり、昨年より終了時間が早まったようで、公園に残っていた少年も数名いましたが『11時までには帰宅するように。』と声をかけると素直に聞き入れてくれました。

私たち、ふれあいの丘地区は青パト乗車組と徒歩組に分かれ遊歩道沿いにある公園を見回りしながら途中コンビニなどで有害図書調査なども行いふれあいの丘駅に集合。駅前には塾帰りの子どもたちが多く、今時の子ども事情を感じました。

またルートを変え校門まで帰り合流後、解散となりました。

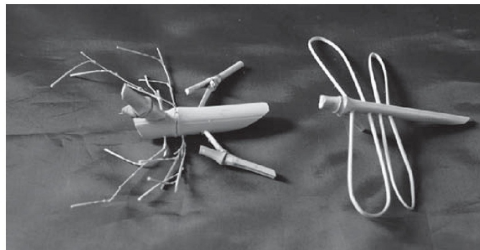
子どもたちが無事夏休みを過ごせることを願いました。

竹細工教室 (盛りだくさんの課題)

山田地区 安藤 晴雄

今年で5回目となる北山田小学校コミュニティハウス主催の竹細工教室を、夏休み早々の平成23年7月23日(土)午後1時から開催しました。今回から青少年指導員の活動の一環として取り組むことになり、作品数を多くし、事前に下ごしらえをしてのぞみました。参加者は低学年15名で、今回も参加してくれました。いつもなら竹を割るところからの箸づくりですが、昆虫のとんぼ、カブト虫を竹で作りました。準備した胴体に図鑑を見ながら竹ひごや枝で翼、角、足をつけるのですが、足が結構むずかしい！細かったり長かったり色々

な形の竹昆虫が出来上がり、笑いが絶えませんでした。次は自由課題です。用意したのは竹トンボ、水鉄砲、種鉄砲、ぽっくり等ですが、水鉄砲に人気があり、スタッフもてんでこ舞いです。竹トンボを飛ばす利き腕がどちらかをたずねて作り直しをする一コマもありました。これを作るのに時間がかかってしまい、難度の高い「孫の手、ヤジロペー式とんぼ」は次回に持ち越しとなりました。今回は盛りだくさんで大忙しでしたが、自分の作品に満足そうな子どもたちの顔を見て、楽しい時間を過ごすことが出来ました。



青少年の健全育成を進める県民大会 勝田・茅ヶ崎地区 加藤 誠治

平成23年7月9日(土)神奈川県立青少年センターにて行われた大会のテーマは「青少年を守り・支え・育てるために ～地域で取り組む絆づくり～」でした。

メインは、荒れた中学校を地域ぐるみで健全化させるなど、実際に活動し実績を重ねている方々の報告とパネルディスカッションでした。パネルリストには、中学生と高校生も参加し、大人たちの取組に対して積極的に意見が述べられる興味深い

ものでした。大会テーマにある「絆」の語は、地域での取組により、子どもが成長するだけでなく大人も成長するというキーワードだそうです。

私たち青少年指導員が青少年の健全育成の実現のために、家庭、学校、地域の方々と相互に連携・協力を深め、取り組めることはどのようなことか、そのために私は何をすべきかについて考えるよい機会となりました。微力ながらも大会でのお話を参考と励みにして取り組みたいと思います。



備考 体育指導委員は、平成23年10月1日よりスポーツ推進委員に名称が変更されました。



このマークは、青少年に優しい環境を願ってヨコハマの青少年指導員が決めたものです。